

よしみ 議会だより

2007
第109号
吉見町議会
2月1日発行
編集
議会だより編集委員会
比企郡吉見町下細谷411
TEL 0493(54)1511



平成19年吉見町成人式

12月定例議会

3月定例会

3月1日(木)

から開催される予定です

- 一般会計補正予算可決 … P 2
- 議案審議結果 … P 2
- 一般質問に6人登壇 … P 3～6
- 一部事務組合報告 … P 7
- 常任委員会視察報告 … P 8～9
- 議会日誌など … P 10

12月定例議会

一般会計補正予算を含む14議案可決

12月定例議会は、5日から8日まで4日間の会期で開催されました。
 今定例会では、平成18年度一般会計補正予算を含め14議案をそれぞれ原案のとおり可決いたしました。
 一般質問には、6名の議員が登壇し、当面する諸問題について町当局の考え方をいただきました。

平成18年度一般会計補正予算（第3号）

既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ23,124千円を減額し予算の総額を6,015,840千円とするものです。
 主なものは、国庫支出金13,766千円の減額、県支出金9,786千円の減額、諸収入428千円の増額であります。
 人件費を除く歳出の主なものは、財産管理費の工事請負費5,000千円の増額は八丁湖下の残土運搬費、社会福祉費の扶助費3,800千円の増額は自立支援法に基づく対象者の増であります。障害者

支援費事業費の扶助費20,793千円の減額は自立支援法に基づくものであります。老人福祉費の繰出金6,678千円の増額は医療費の不足により老人保健特別会計に繰出すものであります。児童措置費の扶助費26,160千円の減額は対象者数の減によるものであります。
 学校管理費の工事請負費4,017千円の増額は高架水槽改修工事に伴うものであります。体育館建築費の工事請負費21,421千円の減額は南小屋内運動場増改築工事請負契約の確定に伴う主なものであります。

議案審議結果

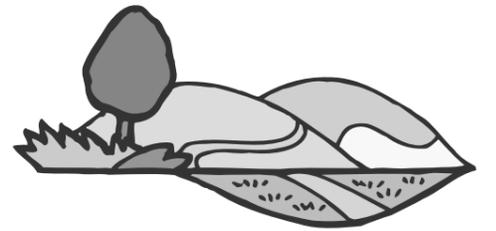
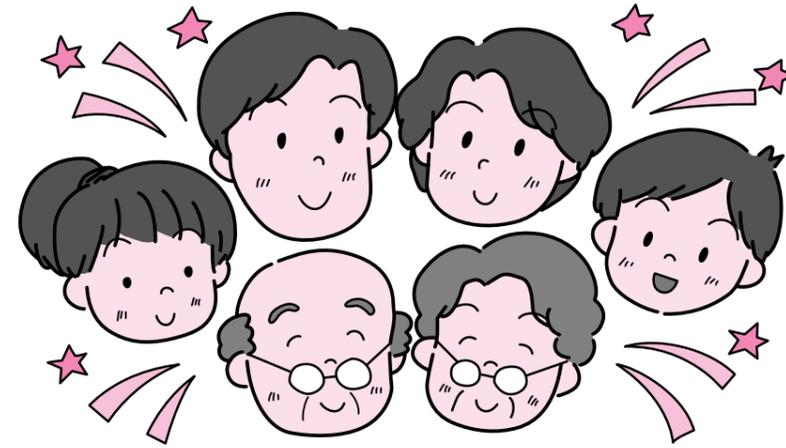
町長提出議案

議案番号	件名	審議結果
議案第75号	埼玉県後期高齢者医療広域連合の設立について	原案可決
議案第76号	彩の国さいたまづくり広域連合の規約変更について	原案可決
議案第77号	埼玉中部環境保全組合規約の変更について	原案可決
議案第78号	吉見町環境審議会条例	原案可決
議案第79号	吉見町課設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第80号	吉見町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第81号	吉見町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第82号	請負変更契約の締結について	原案可決
議案第83号	平成18年度吉見町一般会計補正予算《第3号》について	原案可決
議案第84号	平成18年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算《第2号》について	原案可決
議案第85号	平成18年度吉見町老人保健特別会計補正予算《第1号》について	原案可決
議案第86号	平成18年度吉見町下水道事業特別会計補正予算《第2号》について	原案可決
議案第87号	平成18年度吉見町介護保険特別会計補正予算《第2号》について	原案可決
議案第88号	平成18年度吉見町水道事業会計補正予算《第2号》について	原案可決

町政に対する 一般質問

そこが聞きたい

こうしてほしい



迅速な安全対応と対策を

公明党 長島 茂 議員

問 主要幹線道路東松山鴻巣線の下細谷交差点から町役場前交差点間、特に農協周辺の両側は未整備で、ガードレールや側溝の蓋がない等大変危険な状態のまま数十年来放置している。道路の機能上や形態から見ても正常な状態とは云えない。至急安全対策に取り組むべきと思うがどうか。

答 県道であり関係機関と調整中です。安全対応の早期実現に向け取り組んでまいります。

問 中央市街化区域内の汚水処理に関しては以前にも取り上げ早期改善に向け取り組む意向を示された。その後の展開などどの様になっているのか。

答 進展していないのが現実です。引き続き対応可能な手段は無いのか調査研究をしていきます。

問 防犯に対して地域住民の協力で効果を得ているが更なる取り組みとして以前提言したスーパー防犯灯を始めとした犯罪情報提供送信事業、道路照明灯などの取り組みや計画などはどの様になっているのか。

答 スーパー防犯灯の設置は費用、管理の面で難しい。犯罪情報提供については実施していますが更に進めてまいります。照明灯等の管理は不備な点は改善し実施してまいります。

問 町の特産品「イチゴ」のブランド化販路拡大への取り組み、新たな特産品の動き、また、地産地消への考えと支援への考えや取り組みは如何お持ちか。

答 「イチゴ」に「エコハーマー」の認定シールを貼り、販路拡大に努めており、効果も出始めているようです。新特産品の動きは有るが進展までには至っていない。地産地消については今後も幅広く推進を図りたい。



行政改革・教育改革

柳谷 泉 議員

問 平成18年7月に閣議決定された「経済財政運営と構造改革に関する2006」を踏まえ、総務省において、新たに「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」が通知され必要に応じて施設の民間委託・民営化・民間譲渡・廃止を講ずるとあり、吉見町においても、そのような事例があるのか、お伺いします。

答 効率的な管理運営が図られる様、さまざまな角度から調査・研究していきたいと思えます。

問 市場化テストを導入していく考えは無いのか、お伺いします。

答 現在導入の考えはないが、調査・研究していきたいと思えます。

問 教育委員会のあり方として、予算編成権は町長にあり、教職員の任命権は、県の教育委員会にあり、吉見町教育委員会の裁量権は、どこまであるのか、お伺いします。

答 県の教育委員会が任命した教職員の人事権は吉見町の教育委員会で割り振り、また、教職員の服務監督権があります。

問 平成16年3月中央教育審議会答申「今後の学校の管理運営のあり方について」で示されている、学校運営協議会の設置をしていく考えがあるのか、お伺いします。

答 国が指定校を指定して検討している段階で、まだ、埼玉県においても設置している所が無く、吉見町においても、今の所は、設置していく予定はありません。



放課後子どもプランの実施目標は「原則として全ての小学校区で実施をすること」となっているが、新規事業ということもあり、財政が困難な自治体では、安上がりなプランの策定、実施が危惧されている。この点についてはどのように進めていかれるのか伺いたい。

答 放課後子ども対策として、基本的なねらいは一緒であるが「地域子ども教室」と「学童保育」は、利用料金や専任指導員の配置、施設の設置場所等、内容面に大きな違いがある。安上がりなプランにならないかという点についても、福祉課と調整していきたい。



放課後子どもプランについて

日本共産党 杉田しのぶ 議員

問 「放課後子どもプラン」は、文部科学省の「地域子ども教室」と厚生労働省の「放課後児童クラブ（学童保育）」の両放課後対策事業の連携で、本年5月に国において制度の創設が発表された。当町では「地域子ども教室」が新たに実施されることとなるが、今後の計画を伺いたい。

答 学習アドバイザーや安全管理員、ボランティア等の人材の把握と確保や児童の下校時の安全確保、各学校の余裕教室の状況等、19年度に実施する先進地域を参考にしながら、今後調査、研究を行い検討したい。

問 放課後の子どもをねらう凶悪で卑劣な犯罪が相次ぐ中、子ども達が何の心配もなく友達と過ごせる地域での場所も少なくなっている。

また少子化、核家族化が急速に進んでいる今だからこそ「地域子ども教室」と「学童保育」が持つ役割を維持しながら、ともに拡充させていくことが必要である。

平成19年度予算編成について

宮崎 善雄 議員

問 基本的な考え方について。

答 平成19年度予算編成にあたりましては、地方交付税の削減等の厳しい財政状況を踏まえ、枠配分予算編成方針を周知徹底し、地域協働・効率的行政運営・財政健全化の三つの視点に立ち、第四次総合振興計画・後期基本計画に掲げる施策を効果的に推進するよう各課に指示しております。

問 重要課題について。

答 歳入面で地方交付税の削減や、所得譲与税の廃止等による交付金の減少が見込まれ、ますます厳しい財政運営となることが危惧されるなか、後期基本計画に掲げる施策実現に向けて、中長期的な視点に立ち、事務事業を効率的・効果的に推進し、適正な財政運営を行っていくことが、重要であると認識しております。

要介護者・障害者支援について

公明党 安孫子和子 議員

問 介護福祉用品購入の際、自己負担1割の支払いで済む様、委任払い制度の実施の考えは。

答 実施する方向で検討します。

問 重度心身障害者の燃料給付費は平成17年にタクシー券での対応となり、制度が廃止されたが、タクシー券では大幅な負担増となり利用できない。通院、通所等使途や距離等明確にした上で支給する考えは。

答 使途の不透明さがあり、タクシー券で対応することになりました。今後もタクシー券でと考えてます。

問 安心安全な子どもの居場所づくり、健全育成のための「放課後子どもプラン」の町の計画は。

答 ボランティア等人材把握、余裕教室の状況を踏まえ、先進地域の推進状況を調査研究し取り組みたい。

問 組織・機構の見直しによる財政効果について。

答 課の統廃合により、2課1室の減を見込んでおります。将来的には人件費の削減等の財政効果があるものと認識しております。

問 交通安全対策について、死亡事故撲滅運動を実施しているが、現在までの状況と事故現場の検証と取組みについて。

答 平成13年から交通死亡事故ゼロ1000日運動の目標を掲げ、町民一丸となり交通事故のない住みよいまちづくりの実現のため、町民の啓発意識の高揚に努めているものであります。その他、グリーンベルトの設置等の啓発活動・交通安全施設の設置や高齢者300人を対象にした交通安全講習会や各保育園の保護者を対象とした交通安全教室を開催しております。



問 地球環境の観点から、紙パック（今年度は411,626個消費）の給食用牛乳を瓶に変える考えは。

答 取り扱い、安全面、重量面、生産状況等々で紙パックにしています。

問 算数セット等学習教材の学校設置は保護者の負担軽減になる。一部の学校では上級生や卒業生の物を貯めて、購入しない学校もあるが。

答 学校の状況、使い勝手等あるので、研究させていただきます。

問 特殊学級の発達障害児に対し、教育支援計画を立案作成し、現実にカリキュラムが実践できているか。

答 先生の習熟度の面でなかなか思う様な指導が行き届かない面もあるが、特別支援教育の理解を深める教職員の研修の機会を充実させ、児童生徒一人一人に適切な支援を考えることができる様に進めていきたい。



法人税率、介護保険、いじめ問題

日本共産党 中村静美 議員

問 法人税率が吉見町は標準の12.3%だが、近隣市町では資本金1億円以上の法人税率を制限税率まで上げている。吉見町も資本金の高い法人の税率引き上げを検討しては。

答 企業誘致の点でどうか。研究したい。

問 高齢者に対するあらゆる負担増は深刻である。介護保険料軽減を要望したい。また、吉見町の介護保険条例には、生計維持者が失業、病気の場合等の減免条項があるが、介護保険説明パンフに掲載されていない。

答 支え合いが原則なので軽減出来ない。条例の減免条項は、何らかのかたちでPRする。

問 所得税法では65才以上で障害の程度が条項と同程度の場合、町長が認定すれば税控除が受けられる。県内17市町では、介護保険要介護者を医師の診断により認定されているので同程度と認め、障害者控除対象としている。

答 介護保険要介護者は所得税法規定外であり、対象とはならない。

問 介護保険の保険料と利用料が控除対象になることをPRしてほしい。

答 広報等でPRしていく。

問 いじめの実態と指導は？

答 アンケート、面談、観察等で、早期に対応している。

問 学歴競争社会の中で、子どもは過度のストレスを、教師は授業以外の仕事を抱え内面指導が困難ではないか。対応できる学級数を望みたい。

答 さわやか相談室の県費が一部カットされる。相談室の継続を望みたい。

答 重要と思うので継続していきたい。



請負変更契約の締結

- ・契約の目的 南小学校の屋内運動場増改築工事
- ・施工場所 吉見町大字久保地内
- ・契約金額 変更前 金205,800,000円
変更後 金208,578,300円
- ・契約の相手方 埼玉県熊谷市宮町2丁目144番地
三ツ和総合建設業協同組合
熊谷営業所所長 伊勢博光
- ・施工期間 平成18年6月9日から
平成19年2月23日まで

12月定例議会において一般質問に一問一答方式を導入

町議会では、12月定例議会において一般質問に一問一答を試行的に2名の議員さんが行いました。

各項目ごとに質問し、回答を得るため答弁漏れも無く聞いている方も分かりやすかったのではないかと思います。

今後も、色々な意見を聞きながら3月議会は本格的に行って行きたいと思っておりますので、是非とも大勢の方に傍聴に来ていただけたらと思っております。

次の議会は
3月定例会が
開催される予定です。

くわしいことは町議会事務局まで
お問い合わせください。
☎0493 (54) 1511内線404

町議会を傍聴してみませんか



一部事務組合報告

北本地区衛生組合議会定例会

岩崎 勤 議員

期日 平成18年11月2日
場所 北本地区衛生組合議場

〈審議の概要〉

吉見町議会から田島豊議員、長島茂議員、安孫子
和子議員と岩崎の4名が出席いたしました。

午前9時より全員協議会が開かれ、委員会報告及び
議事日程の説明、事務局より議案説明と処理状況
の報告がありました。

- 処理状況については、
- 1、鴻巣市は大きく減量し、北本市、吉見町、菖蒲町の順で増量となっているが、総体的には218キロリットル(0.97%)減少した。
 - 2、平成19年度市町負担金の試算として全体で3億7千万円とし、吉見町は7,418万円で18年度比2.52%増となりました。

付議された議案は4議案で次の通りです。
議案第13号 専決処分承認を定めることについて
議案第14号 北本地区衛生組合情報公開、個人情報保護審議会条例の一部改正について
議案第15号 北本地区衛生組合行政手続条例の一部改正について

議案第16号 平成18年度北本地区衛生組合歳入歳出補正予算(第2号)について

続いて本会議が開かれ、会期の決定、会議録署名人の指名、管理者により議案の一括上程がなされ、提案理由の説明と行政報告がありました。その後議案審議に入り、各議案とも原案通り承認されました。以上報告とさせていただきます。

だれでも請願できます

請願は憲法で保障されたあなたの権利です。男女、年齢、職業、住所、その他の制限はありません。

町の事務に関することで意見、要望がある方は次の要領で遠慮なく提出してください。

- 1 請願には紹介議員が必要です。
- 2 紹介議員は、必ず表紙に署名押印をしてくださ

埼玉中部環境保全組合議会定例会

内山 幸雄 議員

日時 平成18年10月25日午前9時より
場所 中部環境センター4階会議室

〈審議の概要〉

出席議員は17名全員であり、吉見町議会からは、長嶋操議員、内野正美議員、小柳幸一郎議員、作山一夫議員と内山の5名でした。

付議された議案は「平成17年度中部環境保全組合一般会計歳入歳出決算認定について」など6議案でした。

議案第8号、議案第9号の2議案は、「専決処分の承認を求めることについて」でありました。

議案第10号「中部環境保全組合行政手続条例の一部を改正する条例」は、行政手続法(平成5年法律第88号)の一部を改正する法律が、平成18年4月1日に施行されたことに伴い規定の整備を図るものであります。

議案第11号「中部環境保全組合清掃施設手数料条例の一部を改正する条例」は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第138号)の改正に伴い規定の整備を図るものであります。

議案第12号、平成18年度中部環境保全組合一般会計補正予算(第2号)についてであります。既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ193万4千円を追加し、予算の総額を10億4,808万5千円とするものであります。

議案第13号「平成17年度中部環境保全組合一般会計歳入歳出決算認定について」であります。歳入総額は、12億5,888万8,092円、歳出総額は、11億2,796万1,148円、繰越金は3,092万6,944円であります。

以上、埼玉中部環境保全組合10月定例議会に上程されました6議案とも、慎重審議のうえ全会一致で、原案のとおり承認されました。

- 3 件名及び要旨を記載してください。
 - 4 提出年月日、住所、氏名(法人及び団体は、その事務所の所在地名称及び代表者の氏名)を記載し押印してください。
 - 5 道路、河川、下水道など場所に関するものは、案内図か略図を必ずつけてください。
- ※なお、わからないことがありましたら、役場内議会事務局にお問い合わせください。

常任委員会の視察報告

総務常任委員会

小林周三委員長

健全な財政運営の推進のための自主財源である町税の安定確保を図っていくためには、納税に対する不公平感の解消や滞納処理対策についても重要な課題であります。そこで栃木県大平町で「町税の滞納に対する特別措置に関する条例について」研修をいたしました。

三位一体改革に伴い、国から地方へ税源の移譲が行われ、納税者の負担は変わらないものの、住民税のウエイトが高くなることとなり、自主財源を確保する上から、より一層の税の徴収確保、徴収率の向上対策が必要となります。

本来、滞納への対応につきましては、税法、徴収に関する法令等に基づく取り組みを基本と考えておりますが、納税者間の税の公平性の確保も必要であり、先進的な取り組み事例等をご教示いただきました。

次に、国の三位一体の改革に伴い地方の財源が激減している状況の下、吉見町は、自立して町独自で安定した行財政運営を持續できるまちづくりをめざして、更なる行財政改革を進め、安定した財源確保への施策に取り組んで行かなければならない状況にありますので、先進的な考えの茂木町で財源確保と町の活性化について研修をいたしました。

茂木町長は「財源確保のための企業誘致等も望めない状況にあり、町民が働いて収入を得る場所を確保し、町民の生活が豊かにならなければ、町の発展も望めないことから、行政と町民が一体となって行政運営を進めていかなければならないと考えています。」と自ら説明をされました。

質疑では「茂木町長は、職員のやる気と志気を高めているが、何か特別な方法があるのか」の質問をしたところ「職員の発案を取り上げ、町長自ら現場で率先して各事業を行なうので、職員も付いてきてくれるのだと思う。仕事は楽しみながらやらないと旨くいかない。」とのことでありました。

吉見町の今後の財政再建を考えると、各種施策の取り組みの中で、町民の経済面においても潤いを生

み出すことの出来るような施策を展開し、町民の理解を求めながら推進することが重要であると認識いたしました。



道の駅もてぎプラザ

建設経済常任委員会

福田正克委員長

平成18年10月23日・24日先進地の新潟県柏崎市及び長岡市を研修視察を実施したので報告いたします。

農業集落排水事業の整備について、循環型社会の形成が問われている今日、汚水や汚泥の再利用、特にコンポスト施設の先進地である新潟県柏崎市を視察しました。柏崎市は、現在19地区が整備され平成18年3月末の農業集落排水普及率は21.34%となっております。今回、コンポスト施設を設置している広田集落排水処理場を視察いたしました。計画面積114ha、処理人口2,290人、計画戸数575戸であります。処理方式は回分式活性汚泥法を採用し、コンポストとして農地還元を目的に汚泥発酵減量化設備を有する処理場であります。研修結果から本町に比べて処理施設の汚泥処理費及び維持管理費が安いこと、コンポストの配布を春・秋2回配布しているが安価なこともあり需要者が多いと好評でした。コンポスト施設について理解を深めることができました。

次に長岡市の土地区画整理事業の概要については、昭和3年、最初の土地区画整理事業が開始され現在まで市内78箇所約1,787haで施工済又施工中であります。今回、研修いたしました古正寺土地区画整理事業は施工面積61.7haで事業費114億7千万円、この内、国・県費36.5%、市11.4%、残りを組合員が

負担しております。減歩率は32.9%であります。長倉農住土地区画整理事業は施工面積15.1ha、事業費30億940万円で国・県費の補助は無く、市が6.0%で残りを組合員が負担しております。又減歩率は62.6%であります。長岡市は土地区画整理事業が展開されていますが、ほとんどの事業は事業主体が組合方式によるものであり自主的な運営がなされています。市では減歩率が50%を超える事業については、組合に事業種目の道路・水路の整備のうち用地費(拡張した場合増加分1m分を全額補助)を助成する制度を設けています。長岡市の事業を視察し大変参考になったところであります。

文教厚生常任委員会

國嶋勇吉委員長

平成18年10月17日・18日に文教厚生常任委員会は、食の大切さを積極的に取り組んでいる静岡県富士宮市と、健康づくりにより元気な高齢者の町で、14年連続1人当り医療費が最低となっている長野県で削減の発祥といわれる佐久穂町を視察し研修いたしましたので、ご報告を申し上げます。

はじめに、富士宮市は、富士山を代表する自然に恵まれた地勢を生かして安心安全な健康まちづくりと産業振興を関連づけて事業の取組みがなされております。

食の集積地として「フードバレー構想」を掲げ、健康は食からはじまり農業、環境、健康の循環が生きることの源であるという考え方で将来都市像を目指しております。

食の豊富な資源を生かした産業の振興、食品の生産から流通までの情報提供により消費者との共通理解を図り安心安全な食生活に、また富士宮ブランドを生産者自らが目指し活性化を図る、など多くの「食」に関する事業が実施されております。

学校教育では、休耕田を利用した田んぼの学校として田植えから収穫まで行い、環境教育と関連づけて食の大切さを学習、富士宮の日を設けた学校給食では地元の食材と四季を感じるメニューを工夫しているとのことでありました。

今回の視察研修にあたり、関係各位には感謝を申し上げます報告といたします。



新潟県柏崎市広田集落排水処理場



富士宮市役所玄関前

次に佐久穂町は「予防は治療に勝る」を合言葉に健康づくりに取り組み、予防重視、早期発見、早期治療の健康管理が医療費を激減させてきた町であります。また長野県は佐久地域のこの取り組みが長野モデルとして全国に注目を集めております。

健康づくりは住民の方が主役であるという意識を高め、地域の皆さんが積極的に活動しているところであります。特に、衛生指導員、保健推進員の皆さんは毎年「健康のつどい」を開催し真剣にテーマを考え調査し発表、また全て自ら行う「医療演劇」も長年続き町民の皆さんに健康づくりを啓発しております。

人間ドックと健康検診の結果は保健師がデータベースに蓄積された結果を分析・評価し相談しております。救急医療では、昨年から病院にドクターヘリが導入され初期治療に貢献されております。

本委員会として、医療費の3割を占める生活習慣病と食との関わり、生活習慣の改善など住民意識の高揚を図り健康増進に努めることが重要であると認識したところであります。

議 会 日 誌

H18.9/23	保育園合同運動会
30	よしみ幼稚園運動会
10/2	議会だより編集委員会
10	議会だより編集委員会
12	議会運営委員会
13	平成18年度「町村議会議員研修会」
16	議会だより編集委員会
16	第23回自衛消防総合訓練大会
17・18	文教厚生常任委員会視察研修
19・20	総務常任委員会視察研修
21・22	第6回よしみコスモスまつり
23・24	建設経済常任委員会視察研修
24	文教厚生常任委員会（閉会中の所管事務調査）
27・28	区長会研修
29	消防操法大会

10/29	第25回東松山署管内少年剣道大会
30・31	大里比企広域農道整備事業推進協議会 先進地視察
11/2	比企郡町村議会議長会定例会
3	第35回吉見町文化祭
3	商工祭
15	平成18年度県要望活動
16	正副議長及び事務局長合同研修会
19	吉見農業祭
19	第24回西公民館まつり
26	比企広域市長村圏組合吉見消防団 消防特別点検
26	南公民館「芸能発表会」
27・28	農業委員会県外視察
30	議会運営委員会

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には穏やかな正月を迎えられた事とお喜び申し上げます。

月日の流れも早いもので広報を担当してこの号で最後の編集作業となりました。

今議会から一問一答方式を試験的に取り入れ適確な質問、答弁がなされていくと思われれます。更なる議会の活性化が図られ町政進展に繋がるものと確信しております。

猪の如くまっしぐらに飛躍の年となります様に、また皆様にとってこの一年が良き年であります様祈念して編集後記と致します。



議会だより編集委員会

委員長 内山 幸雄

副委員長 岩崎 勤

委員 新島 久徳

〃 小宮 榮

〃 小柳 幸一郎

〃 作山 一夫

